



巻頭言

校長 渡邊 昌彦

「新年を迎えて」

新年あけましておめでとうございます。2023年、令和5年が始まりました。今年こそは、感染症の世界的な流行が収まり、国と国との争いが無い穏やかで平和な1年になることを願ってやみません。

さて、皆さんは、この年末年始にどのように過ごされましたか？久しぶりに日本全国で行動制限がない年越しだったことから、親戚家族友人で集まることも多かったと思います。久しぶりに会う親戚からは、お年玉をもらい、「大きくなったね」とか「立派になったね」と褒められたり、「何を頑張っている？」など聞かれたりしたのでないでしょうか。親戚家族友人が集まれば会話が弾み、互いの近況を紹介し合う、この節目のひと時が、普通にあることがほんとうに幸せなことだと思います。

ところで今年は、卯（うさぎ）年です。十二支の動物の中でうさぎはもっとも人気があり、人や経済が動き出した今、新たに始めたことが順調に成長する年になると期待されています。私は、「うさぎ」というと、半世紀も前の幼少期によく読み聞かせて聞いた「因幡（いなば）の白兔（しろうさぎ）」の昔話を今でも思い出します。（以下 話の要約）

大国主命にはたくさんの兄弟がいて、その多くの兄弟のことをまとめて八十神（やそがみ）と言います。因幡の国に、とても美しい八上比売（やがみひめ）という女性がいると聞きつけた八十神は、全員で八上比売にプロポーズしようと因幡の国まで出かけることにしました。

その時、年下の大国主命は八十神からいじめられて、荷物持ちとして連れ出され因幡の国へと向かいます。重い荷物を運んでいた大国主命は、八十神から遅れて海岸を歩いていると、傷ついて泣いている「因幡の白兔」に出会います。

大国主命が泣いている理由を因幡の白兔に尋ねると、それまでのいきさつを話しました。

私はもともと淤岐ノ島（おきのしま）に居て、こちらまで行こうと思ったものの、海を渡る術がありませんでした。そこで、近くの海にいたサメに、「私とあなたの一族ではどちらが数が多いか、私が頭を踏んで数えてあげましょう。その為にも向こう岸まで一列に並んで下さい」と言ってサメを騙したのです。そして、並んだサメを踏んで渡り終えようとした時に「あなた達は私に騙されたんだよ」と言うと、一番端にいたサメに噛まれて毛をむしられてしまったのです。

因幡の白兔はさらに続けます。

こうして私が毛をむしられて泣いていると、先に通りかかった八十神に出会い「それなら海水を浴びて風に当たるといい」と言うので、その通りにやってみると更にひどくなってしまったのです。と、泣いている理由を大国主命に教えました。

因幡の白兔の話聞いてかわいそうに思った大国主命は、その傷の治療法を教えます。その治療法とは、まず河口に行き淡水で体を洗った後、近くに生えているガマの穂の花粉を取り、それを敷き詰めてその上を転がるという方法でした。

因幡の白兔は、大国主命に言われた通りの方法を試すと、みるみるうちに傷が回復していったのです。傷が治った因幡の白兔は、そのお礼のかわりにとある予言をします。

その予言というのは、「八十神は誰も八上比売（やがみひめ）と結婚はできず、あなたが八上比売と結婚するでしょう」というものでした。

すると、その予言のとおり八上比売は八十神を前にして「私はあなた達の妻になるつもりはありません。大国主命と結婚します」と言ったのです。・・・・・・・・・・続く

この話からの教訓は、良い行いをすれば良い結果が、悪い行いをすれば悪い結果がでるといふ「因果応報」であると思いますが、当時は嘔まれて毛をむしられ傷つき、さらには真っ赤に皮膚が焼けたうさぎの姿のインパクトが強く残っています。相手を騙すとひどい目にあうぞとか、うまくいったと思えば自惚れたり、ひけらかしたりしてはしっぺ返しがあるぞということが心に残りました。この話、どうやら数年前に流行った人気漫画の「鬼滅の刃」とも関係があるともいわれていますので、興味のある方は調べてみてください。

さて、年の初めに当たり、生徒のみなさんは新年の決意を考えたと思います。「一年の計は元旦にあり」といわれます。その決意を常に忘れず、良い行いをすれば良い結果がでると思い、充実した輝く1年間にしていきたいと思います。

最後になりましたが、今年も生徒の皆さん一人一人が、心が安らぐ、確かな成長が実感できる学びの場としての東新潟中学校でありたいと思います。これまで同様、保護者、地域の皆様からのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

生徒会活動の引継ぎが行われています

1月に入り、高校入試が始まりました。3年生は自分の進路の実現に向けて全力で努力しています。そして、これまで生徒会をリードしてきた3年生に代わって、これからは1、2年生が生徒会活動を盛り上げていきます。



先日、新しい専門委員長と生徒会書記局員が決まりました。どんな学校にしたいかみんなですべて思いを一つにして、担当する分野で全校をリードしてほしいと思います。

1月25日（水）に「生徒会引継ぎ式」が行われ、現委員長から新委員長に具体的な活動の内容が伝えられました。新委員長はこれからの見習い期間で仕事を覚えていき、徐々に仕事を引き継いでいきます。

また、1月27日（金）に、第2回生徒総会に向けた「議案書審議」が各クラスで行われました。常任委員会、各専門委員会、部活動の活動を振り返り、質問や意見が出されました。2月6日（月）の生徒総会で今年度の成果と課題を全校で共有し、来年度の活動へつなげていきます。

令和4年度

第2回 生徒総会

議案書



令和5年2月6日

議案書をもとに、
各クラスで審議しました。

